

市町村名	与那国町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	地域振興対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	観光・漁業の振興及び地域の活性化を図るため、日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会の開催及び日本最西端与那国一周マラソン大会の開催の支援を行う						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算 の 状 況		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a)当初予算額	10,000	0	0	13,000	16,500
		(b)予算現額	10,000	0	0	13,000	16,500
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	10,000	0	0	13,000	16,500
		B.執行済額	10000	0	0	9,980	16,500
		うち交付金充当額	8000	0	0	7,984	16,500
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	76.8%	100.0%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により、通常開催を行ったため						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	カジキ釣り大会の補助(7月)		目 標	(カジキ釣り大会開催)	(カジキ釣り大会開催)	(カジキ釣り大会開催)	(カジキ釣り大会開催)
			実 績	新型コロナウイルスの影響にて中止	新型コロナウイルスの影響にて中止	規模縮小にて開催	カジキ釣り大会開催
	一周マラソン大会の補助(11月)		目 標	一周マラソン大会開催	一周マラソン大会開催	一周マラソン大会開催	一周マラソン大会開催
			実 績	新型コロナウイルスの影響にて中止	新型コロナウイルスの影響にて中止	規模縮小にて開催	マラソン大会開催
達成状況説明	日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会・日本最西端与那国島一周マラソン大会共に、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和に伴い、4年ぶりに通常開催した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)
	カジキ釣り大会開催月(7月)の入域観光客数		目 標	(3,000人)	(3,000人)	(3,000人)	(3,000人)
			実 績		1,742人	3,346人	3,467人
	一周マラソン大会開催月(11月)の入域観光客数		目 標	(3,500人)	(3,500人)	(3,500人)	(3,600人)
			実 績		2,616人	2,504人	3,952人
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により4年ぶりのイベント通常開催となったことから、入域観光客数は昨年比で増加し達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	大型宿泊施設の撤退や施設の老朽化・担い手の高齢化等を理由に島内の宿泊施設が減少しており、参加者の宿泊施設の確保について懸念される。	課題である宿泊施設については、新規宿泊事業者との連携や既存施設(公民館等)での宿泊者受入等も検討しながら確保に努める。
今後の取り組み方針		
令和6年度に関しては通常の21:00までの開催を予定している。カジキ釣り大会においては、好評であったサブイベントを今年度も取り入れ、新たなサブイベントを実施し、年齢・釣り縛られずたくさんの方が参加できる大会を目指す。マラソン大会については、宿泊施設の減少に対する課題については、既存施設(公民館・古民家や移住促進住宅・期間限定従業員用宿舎(製糖工場職員宿舎))の借用による宿泊施設の確保を計画している。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
与那国町 16,500千円 補助金 16,500千円 日本最西端与那国島 国際カジキ釣り大会 実行委員会補助金 12,000千円 日本最西端与那国島 一周マラソン大会 実行委員会補助金 4,500千円 第34回日本最西端与那国島 国際カジキ釣り大会に係る補助金 需用費・役務費・委託費 第29回日本最西端 与那国島一周マラソン大会に係る補助金				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,500	16,500	13,200	3,300	0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 項目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・カジキ釣り大会及びマラソン大会からの申請をうけ、要綱・事業内容を確認の上で補助金交付を決定しており妥当と考える。 ・費用・使途に関しては事業目的の観点から、支出の必要性を確認しており、適正であった。 ・委託事業者の選定については、企業組織の事業内容や実績を勘案した上で選定しており、妥当と考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那国町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	与那国町誘客促進活性化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章ー3ー(2)ーウ		
担当部署名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成30年度～令和13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進			
事業内容	与那国島への観光誘客の安定化を図るとともに、観光・物産との連携を促していくことで、両面から与那国島の活性化と誘客につなげる。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	13,034	7,000	7,000	16,000	17,000	
		(b)予算現額	12,095	5,792	6,201	11,544	15,576	
		(c)増減額(b-a)	-939	-1,208	-799	-4,456	-1,424	
		(d)繰越額						
	A. 計(b+d)		12,095	5,792	6,201	11,544	15,576	
	B. 執行済額		12,095	5,792	6,201	11,544	15,576	
	うち交付金充当額		9,676	4,634	4,960	9,235	12,460	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		間接補助事業内の旅費等実績により、1,424千円を減額した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	与那国島観光・物産と芸能フェアの開催	目 標	(開催)	(開催)	(開催)	(開催)		
		実 績	未実施	未実施	1回	1回		
	観光・物産PR及び商品造成の推進	目 標	(ー)	(ー)	(実施)	(実施)		
		実 績	ー	ー	実施	実施		
	観光誘客にかかる受入れ体制の整備・強化	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
		実 績	未実施	未実施	実施	実施		
	PRツールの作成	目 標	(1回)	(実施)	(作成)	(作成)		
		実 績	未実施	未実施	実施	実施		
達成 状況 説明	R5年度は、初の中部国際空港にて観光・物産と芸能フェアを開催。空港で民俗芸能を披露し大盛況に終わった。アンケートに答えていただいた方に、PRツールとしてクリアファイルバッグを新規作成し配布した。R5年度初の海外からのクルーズ船が寄港し、3度にわたり海外からのお客様が来島した。コミュニケーション対応として、ポケットクを使用して民具づくり体験や物販に活かすことができた。宿泊施設が減少し、予約が取りづらい現状の与那国において、FDAへの要望調査や与那国における観光動向調査を実施し、その結果を用いて観光商工セミナーを行い、与那国観光における需要や対策の検証を行うことができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	与那国島観光・物産と芸能フェア来場者数: 4,000人	目 標	()	(5,000人)	(4,000人)	(4,000人)	()	
		実 績		未実施	903人	12,683人		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗 状況 説明	R4年までは9月に沖縄県話のタイムスビルで開催していた与那国島観光・物産と芸能フェアを中部国際空港にて開催。例年、台風時期で予想できない台風の影響があり、来場者数に大幅な増減があったが、人の集まる空港での開催とすることで、予想外に多数のお客様にアピールできることができた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	与那国島観光・物産と芸能フェアや羽田空港で開催された物産展での観光アピール等、R5年度は例年以上に大勢のお客様に与那国島を認知していただく機会があった。	宿泊施設やレンタカー等について、急激に増やすことは困難であるが、工夫次第で多少の分散や日帰りコンテンツの選択が可能ではないか。
今後の取り組み方針		
宿泊施設やレンタカー等与那国の観光情報を精査し、情報を発信することで、利用しやすい環境を整える。また、日帰りでも楽しめるコンテンツの整備等情報発信し、与那国島への誘客と島内の活性化を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,576</td><td>15,576</td><td>12,460</td><td>3,116</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 与那国町 15,576千円 補助金 15,576千円 与那国町観光協会 9,138千円 (一社) 八重山ビズターズビューロー 6,437円 誘客促進活性化事業補助金 誘客促進活性化事業補助金					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,576	15,576	12,460	3,116	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,576	15,576	12,460	3,116	0										
資金の流 れ・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・八重山観光関係を網羅する一般社団法人であるため妥当と考える。 ・費用・使用については検査を実施しており、目的に即し必要なものであると判断した。 ・一部実施できなかった業務内容は、やむを得ない理由によるものであり、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使用が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	与那国町特産品アピール力強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章―3―(1)		
担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成25年度～令和13 年度			県民所得の着実な向上につな がる企業の「稼ぐ力」の強化		
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)		
事業内容	与那国町の特産品のブランディング向上及び各事業所の売上アップと販路の開拓を図る							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	8,000	8,000	8,000	8,000	12,220	
		(b) 予算現額	6,835	1,252	3,354	8,000	11,503	
		(c) 増減額 (b-a)	-1,165	-6,748	-4,646	0	-717	
		(d) 繰越額						
	A. 計 (b+d)		6,835	1,252	3,354	8,000	11,503	
	B. 執行済額		6,835	1,252	3,355	5,734	11,503	
	うち交付金充当額		5,467	1,002	2,683	4,587	9,202	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	71.7%	100.0%	
予算の状況の説明		令和5年度は、出展者の旅費を100%補助し、事業を行った。県内は、旅費の計算はしやすいものの、県外(羽田空港)では、初の出店となり、また、航空会社の運賃の変更もあったりと旅費の計算にずれが生じ、予算との差額が大きかった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	事業者の販路開拓及び新商品開発等の取り組みを支援し、地域経済の活性化を図る	目 標	()	()	()	()	(支援の実施)	
		実 績					実施	
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成 状 況 説 明	R5年度初めて利用者の多い羽田空港での物産展を行い、過去最高の売上金額を計上したこともあるが、多数の人々に自ら商品を販売することを経験し、新商品や今後の目標について意欲のある報告が散見された。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	物産展・フェア・商談会への出展 県内物産展 3回	目 標	()	(3回)	(3回)	(3回)	()	
		実 績		0回	1回	2回		
	物産展・フェア・商談会への出展 県外物産展 1回	目 標	()	(1回)	(1回)	(1回)	()	
		実 績		0回	1回	1回		
	進 捗 状 況 説 明	令和5年度は県外・県内共に与那国町独自の物産展を開催することができた。 県内: 令和6年1月 与那国フェアサンエー那覇メインプレイス 県外: 令和5年10月 与那国フェアin羽田空港 県内での与那国町単独での物産展開催は、一回のみであったが、離島フェアへは業者参加(出展)した。目標へは未達であったが、与那国町全体としての参加・出展ではなく、意欲のある業者の出展(産業まつり・手仕事展等)の支援に力をいれた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	与那国町単独の物産展が毎年開催され、希望すれば参加し、年に数度売り上げが確保できる体制が継続されている。	与那国町としての物産展の開催・参加を目標とするのではなく、業者自身が自立して売上の上昇や・販路を確保する体制を目指したい。
今後の取り組み方針		
希望する業者・意欲のある業者に対し新商品の開発・新商品のリニューアルの援助を行う		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>11,503</td><td>11,503</td><td>9,202</td><td>2,301</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,503	11,503	9,202	2,301	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,503	11,503	9,202	2,301	0										
与那国町 11,503千円 補助金 11,503千円 与那国町商工会 11,503千円 県内外物産展の出展、 商談会参加に係る補助金														
資金の 使途の 流れ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助金の支出先は、与那国町特産品強化事業補助金交付要綱に基づき選定 ・資金使途や費用項目については事業目的の達成の観点から必要性を確認 ・費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	優良牛繁殖雌牛導入事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－(7)－エ	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	令和5年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策の強化	
						Ⅲ－1－(6)	
事業内容	農家の経営の安定化に向けて、生産する子牛の品質及び価格を向上させるため優良繁殖雌牛の導入を支援する。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	□ 直接実施 □ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,500	15,000	15,000	18,000	18,000
		(b) 予算現額	14,000	15,000	15,000	19,800	18,000
		(c) 増減額(b-a)	1,500	0	0	1,800	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	14,000	15,000	15,000	19,800	18,000
	B. 執行済額		13501	11456	11023	13,585	9,325
	うち交付金充当額		10801	9164	8818	10,868	7,460
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)		96.4%	76.4%	73.5%	68.6%	51.8%
予算の状況の説明		・計画の導入頭数についてはセリ価格の変動があるものの、当初導入を予定していた30頭を支援しており、適切に実施している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・優良母牛導入の支援:30頭	目 標	(30頭)	(30頭)	(30頭)	(30頭)	
		実 績	30頭	30頭	33頭	28頭	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・本事業で優良母牛の購入の一部支援を行うことで、優良母牛購入を希望する畜産農家は多く、新規就業者の増加及び畜産農家の経営の安定化が図られているが、申請農家の意向の系統牛が見つからずに目標達成に若干及ばず、当初予定していた30頭を下回る28頭の支援となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合115%以上	目 標	()	(115%以上)	(115%以上)	(115%以上)	()
		実 績		119.30%	120.40%	125%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・子牛の価値を計るセリ価格がR5は全体的な価格の低落により、優良母牛から生まれた子牛が増頭しているため、優良母牛以外から生まれた子牛との平均価格差の割合も上がりR5は目標の115%以上の124%を達成した。今後も優良母牛の導入を継続すれば子牛の価格差割合の向上が期待できる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・社会情勢による飼料高騰が影響し肥育業者の買い渋りが懸念しているが、現在、円安傾向にあることからさらなる飼料等の生産資材の高騰が懸念される。	・近年の子牛販売価格の下落により農家経営が資金難により優良母牛より生み出される雌子牛はなるべく自家保留して優良系統を残していきべきであるが、出荷されることが多々ある。そのことから、優良系統の自家保留を推し進めるための事業が必要である。
今後の取り組み方針		
・令和6年度についても優良母牛から産まれた子牛の価格は安定していることから、優良母牛を増やすとともにその母牛から産まれた自家保留母牛の増頭を図り、畜産農家経営の安定化に向け取り組むため、優良系統子牛の自家保留するための助成金等の支援を検討する。 ・令和5年度についても、飼料購入に対する持続的な助成を行うが牧草については自家飼料割合を増やすため草地造成等事業を行うことで安定的な畜産経営を推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>20,636</td><td>9,325</td><td>7,460</td><td>1,865</td><td>11,311</td></tr></table> 与那国町 9,325千円 和牛生産を推進するため繁殖雌牛の導入にかかる補助金 補助金 9,325千円 沖縄県農業協同組合 9,325千円 畜産農家優良母牛及び妊娠牛購入にかかる補 町負担分(交付対象外経費) 5,600千円(1頭あたり1/2補助) 受益者負担分(交付対象外経費) 5,711千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	20,636	9,325	7,460	1,865	11,311
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
20,636	9,325	7,460	1,865	11,311										
資金の流 使途の流 れ 点 検 査 目 ・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・補助金の支出先については、農協を窓口として畜産農家を対象としていることから、支出先として妥当であったと考える。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		・予算の規模については子牛の価格高騰が続く中で妥当であったと考える。										
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		・受益者との負担関係については、導入価格の1/2を負担額として決定しており妥当であったと考える。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		・費目、使途については事業目的に即し真に必要なものが等確定時において支出等に関する書類により確認。適正だった。										

市町村名	与那国町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-エ	
担当部課名	産業振興課 農林水産班	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	与那国町の漁業事業者団体による漁業設備の貸付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	36,000	32,000	54,500	23,140	42,893
		(b) 予算現額	45,956	32,000	54,500	23,140	42,893
		(c) 増減額 (b-a)	9,956	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	45,956	32,000	54,500	23,140	42,893
	B. 執行済額		37,387	24,455	49,800	20,230	47,725
	うち交付金充当額		29,909	19,564	39,841	16,185	34,285
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		81.4%	76.4%	91.4%	87.4%	111.3%
	予算の状況の説明		当初計画していた3名への中古船、装備品等の年度内での貸与が出来た。不用額37千円は導入残額であるが活動目的、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。				
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入に対し支援の実施	目標	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	
		実績	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	漁業従事団体が貸付けるための船舶、エンジン及び装備品の購入に対し補助を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(H25年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	既存漁業従事者の維持確保 39人以上	目標	(32人)	(38人)	(39人)	(39人)	(40人)
		実績		39人	39人	39人	
	【参考指標】 漁業経営の安定確保	目標	()	漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	()
		実績		漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	
	進捗状況説明	令和5年度は就業者数39人に変化はないが世帯で漁業をしていた20代担い手が中古船を導入し独立出来た。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和4年度からの39人の維持ではあるが、漁業世帯より中古船導入により1名が独立することができ、担い手事業としては成果を出している。	漁業従事者の高齢化が進んでおり、島内外含め漁業従事者維持確保の為、既存漁業者と一緒に操業する乗り子等を推進し、担い手継承及び漁業就業者の若返りを図る。
今後の取り組み方針		
漁業従事者の維持確保を行うため、積極的なIUターンに向け漁業の魅力を町広報誌や町ホームページ等でPRする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47,725</td><td>34,285</td><td>27,427</td><td>6,858</td><td>13,440</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	47,725	34,285	27,427	6,858	13,440
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
47,725	34,285	27,427	6,858	13,440										
与那国町 34,285千円 補助金 34,285千円 与那国町漁業協同組合 34,285千円 中古船、エンジン取替及び 装備品購入にかかる補助金 受益者負担分 (交付対象外経費) 13,440千円														
資金の 使途の 流れ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金の支出先については、漁業従事団体を対象としていることから、支出先として妥当であると考ええる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○見積等を徴収し、予算規模を決定しており妥当であったと考えている。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については事業費の20%負担しており、妥当であったと考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののかな等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											

市町村名	与那国町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	官民一体型新産業推進基本計画策定事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(6)-(ア)	
担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		スタートアップの促進	
事業内容	自立した地域経済の実現に向けた産業振興を効果的、計画的に推進するため、「官民一体型新産業推進基本計画書」を策定し、民間の資金及びノウハウや新しいアイデアを活用した施策展開を民間との協同により取り組む。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(6 年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	12,747				
		(b) 予算現額	12,747				
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	12,747	0	0	0	0
	B. 執行済額		12,747				
	うち交付金充当額		10,197				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初計画に沿って予算を執行することが出来た。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	官民一体型新産業推進基本計画書の策定	目 標	(策定)	()	()	()	
		実 績	策定				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・「官民一体型新産業推進基本計画書」策定のため、委託業務を発注し計画のとおり計画書を策定した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)
	官民一体型新産業推進基本計画書の策定完了	目 標	()	(策定完了)	()	()	()
		実 績		策定完了			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・本事業の成果目標は、官民連携による事業導入を推進するための取り組みに係る効果等を設定すべきだが、計画策定直後での検証が困難なため、本年度の成果目標としては、定性的な指標を設定し、当該計画書を踏まえた事業導入の取組にて、事業導入が円滑に推進されたことを年度ごとに検証する予定である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・自立した地域経済の実現に向けた産業振興を効果的、計画的に推進するため、「官民一体型新産業推進基本計画書」の策定に取り組んだ。 策定において庁内の検討会議を3回実施したことで、官民連携について各課の理解度が上がった。また、現状の課題に対して官民連携による取り組みの可能性を検討するきっかけとなったことも効果として確認できた。	・官民一体型新産業推進基本計画書を踏まえた官民連携の取組みを具体的に推進するためには、担当となる職員の更なる理解が必要となることから、計画書にて取り上げた事業事例を参考に知識を深める機会を設ける必要がある。 また、民間事業者へのサウンディング実施などにあたってアドバイザー等の人材活用も検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
・令和7年度事業として、官民連携による事業を予算化するため令和6年度において取り組む予定である。基本計画は策定したが、職員自身の知識習得は間に合っていないことから、外部人材としてアドバイザー等を積極的に活用し、確実に成果を出せるよう取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>12,747</td><td>12,747</td><td>10,197</td><td>2,550</td><td>0</td></tr> </table> 与那国町 12,747千円 委託料 12,747千円 一般財団法人 沖縄新ITビジネス 創出促進協議会 12,74千円 「官民一体型・新産業推進基本計画書」策定					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,747	12,747	10,197	2,550	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,747	12,747	10,197	2,550	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	与那国町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④	与那国島地域デジタル推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(3)-ア				
担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～令和5年 度	沖縄振興基本方針 該当箇所	産業のDXを牽引する情報通 信関連産業の高度化			
事業内容	本事業は、地域産業(企業)の現状やICT人材のニーズを分析し、課題抽出を行い、ICT導入等の支援のあり方や人材育成の方向性を整理するとともに、他地域の離島辺地における取組事例調査、島外からの人材誘致や企業立地の可能性についても調査・分析し、基本的な方向性(仮説設定)の考察と提示を行うことを目的とする。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和6年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	16,378					
		(b) 予算現額	16,378					
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0				0	
		A. 計(b+d)	16,378	0	0	0	0	
	B. 執行済額		16350					
	うち交付金充当額		16350					
	次年度繰越額		0				0	
	執行率(%) (B/A)		99.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		計画通りに事業を実施し、適正に予算を執行した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	「地域デジタル推進に向けた調査・分析」資料の作成	目 標	(資料の作成)	()	()	()	()	
		実 績	完了					
	地域産業(企業)に対する効果的なICT導入支援策の分析	目 標	(支援策の分析)	()	()	()	()	
		実 績	完了					
	地域産業に必要なICT人材ニーズに対する課題の抽出と分析	目 標	(課題の抽出と分析)	()	()	()	()	
		実 績	完了					
	ワーケーション誘致のトリガーとなるなテレワークやコワーキング施設等に関する必要性の分析	目 標	(必要性の分析)	()	()	()	()	
		実 績	完了					
達成状況説明	・「地域デジタル推進に向けた調査・分析」資料の作成については産業・町民向けアンケート結果を取りまとめ資料を作成した。 ・地域産業(企業)に対する効果的なICT導入支援策の分析については個別ヒアリングを行い資料を作成した。 ・地域産業に必要なICT人材ニーズに対する課題の抽出と分析については産業向けアンケート結果を取りまとめ資料を作成した。 ・ワーケーション誘致のトリガーとなるなテレワークやコワーキング施設等に関する必要性の分析については離島辺地における先行取り組み事例を調査し分析を行った							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	・与那国町「地域デジタル推進に向けた調査・分析」資料の作成	目 標	()	(作成)	()	()	()	
		実 績		作成				
	進捗状況説明	地域企業・住民に地域課題・ニーズに係るアンケートを実施し、調査結果を踏まえ、与那国町にてデジタル化を進める上での重点方針を抽出。さらに現状分析を具体化するために地域住民・関係者とのヒアリングを通じた地域実態の把握。離島辺地における先行取り組み事例も参考に初動にて取り組むべき方向性を明確化した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	与那国町「地域デジタル推進に向けた調査・分析」資料の作成は最終報告書の提出をもって完了した。今回は地域デジタル推進のため、現状を的確に把握するための調査・分析業務である。 今後、外部環境の変化の変化に合わせ、スピード感をもってデジタル化を進める必要がある。	令和6年度は今事業の結果をもって推進計画の策定に進めたい
今後の取り組み方針		
R5年度に作成「地域デジタル推進に向けた調査・分析」資料に沿って、次の3点に留意し与那国町DX推進計画を策定する。 ①地域企業へのICT導入意欲を醸成し効果的な支援を進める。 ②地域に必要なICT人材ニーズに対する人材育成を企画、実施する。 ③産業振興に資する島外ICT人材の誘致や企業立地にむけて、具体的に取り組むべき政策を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金	市町村	交付対象外経費
		充当額	負担金	
16,350	16,350	13,080	3,270	0

与那国町
16,350千円

委託費
16,350千円

有限責任監査法人トーマツ
16,350千円

〔 与那国町デジタル推進事業 〕

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルを実施し、審査結果評価の高かった事業者と随意契約。手続きは適切と考える
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那国町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	家庭学習支援モデル事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-(ウ)		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と学習 環境の充実			
事業内容	町内の小中学生の学力を向上させるため、学習習慣の確立補助を目的とした町営の学習塾を運営し、地理的、経済的要因等に左右されない教育環境の整備、都市部と同程度の教育環境の実現を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	20,996	21,457	18,448	20,100	13,060	
		(b)予算現額	19,438	16,060	16,460	18,600	12,084	
		(c)増減額(b-a)	-1,558	-5,397	-1,988	-1,500	-976	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	19,438	16,060	16,460	18,600	12,084	
	B.執行済額		18616	13550	11983	16464	11,821	
	うち交付金充当額		14893	10840	9411	13,024	9,456	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		95.8%	84.4%	72.8%	88.5%	97.8%	
予算の状況の説明		委託費において講師派遣旅費等が減額となり、976千円を減額した。 不用額243千円については、消耗品の数量減、委託の実績に応じた精算によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	町営学習塾において学習指導の実施		目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実 績	実施	実施	実施	実施	
達成 状況 説明	・オンライン集合授業にて、遠隔地にいる講師と与那国町を接続し学習指導を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (R3年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R14年度)
	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生国語: +7.5ポイント以上	目 標	(7.5)	(7.5)	(7.5)	(7.5)	(7.5)	
		実 績			7.9	4.2		
	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生算数: +9.8ポイント以上	目 標	(9.8)	(9.8)	(9.8)	(9.8)	(9.8)	
		実 績			7.8	4		
	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 中学生数学: +2.7ポイント以上	目 標	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	
		実 績			4.2	5.2		
	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 中学生英語: 0ポイント以上	目 標	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
		実 績			-0.2	1.8		
	進 捗 状 況 説 明	・小学生国語は4.2ポイントとなり、目標を3.3ポイント下回った。 ・小学生算数は4.0ポイントとなり、目標を5.8ポイント下回った。 ・中学生数学は5.2ポイントとなり、目標を1.5ポイント上回った。 ・中学生英語は1.8ポイントとなり、目標を1.8ポイント上回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・小学生が低下した要因として、入塾率(入塾者数÷在籍者)が37.9%と低く、町内の児童に学習習慣が定着していないことが考えられる。 ・中学生が上昇した要因として、学習進捗度に応じたクラス分けを実施し、きめ細やかな指導ができたことが挙げられる。	・今年度から学習会場を増設し、前年度より10.2ポイント上昇したが、中学生65.5%にと比較すると低い。効果的な呼びかけ方法、小学生向け学習イベント内容を検討し、入塾率を高める。 ・次年度も学習進捗度に差があるクラスはクラス分けを実施する。
今後の取り組み方針		
・学校と連携し担任等から入塾の呼びかけを積極的に行ってもらい、入塾率を高め学習習慣の定着を図る。 ・引き続き、きめ細やかな指導ができるように学習進捗度に応じたクラス分けを実施し、学力・学習意欲の向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>11,871</td><td>11,821</td><td>9,456</td><td>2,365</td><td>50</td></tr> </table> 与那国町 11,871千円 委託料 11,841千円 株式会社フィオレ・コネクション 11,841千円 〔 学習塾運営委託 〕 需用費 30千円 〔 消耗品費 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,871	11,821	9,456	2,365	50
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,871	11,821	9,456	2,365	50										
資金使途の点検・評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○テキスト代を自己負担としている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	与那国町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	教育諸活動助成事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ア	
担当部署名	与那国町教育委員会 総務課	事業実施 (予定)年度	平成24年度～令和13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域を知り、学びを深める環境 づくり		
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外で開催される大会に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の 状況	(a)当初予算額	10,000	10,000	10,000	8,000	8,000
		(b)予算現額	10,000	4,000	5,400	8,000	8,400
		(c)増減額(b-a)	0	-6,000	-4,600	0	400
		(d)繰越額		0	0	0	0
		A. 計(b+d)	10,000	4,000	5,400	8,000	8,400
	B. 執行済額		6,162	2,705	5,114	5,918	8,028
	うち交付金充当額		4,930	2,163	4,042	4,735	6,422
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		61.6%	67.6%	94.7%	74.0%	95.6%
予算の状況の説明		各学校にて計画をし、感染症等の予防対策を取りながら大会・コンクール等に積極的に参加した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	各種大会派遣の実施	目 標	(各種大会派遣の実施)	(各種大会派遣の実施)	(各種大会派遣の実施)	(各種大会派遣の実施)	
		実 績	派遣回数19回	派遣回数39回	派遣回数49回	派遣回数51回	
	各種大会派遣人数(過年度活動目標)	目 標	(300)	(530)	(500)	(500)	
		実 績	134	206	341	392	
達成状況説明	体調不良や悪天候により大会へ参加できず、目標には至らなかったが、前年度に比べ派遣人数が51名の増となり、多くの児童生徒が活躍し貴重な経験ができた。大会へ参加した児童生徒へ補助を行い保護者の負担軽減になった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者等に対しアンケートを実施し、本事業の在り方を検証する。	目 標	()	()	(80%)	()	()
		実 績		未実施	54%	未実施	
	【参考指標】 各種大会派遣人数	目 標	()	(530)	(500)	(500)	()
		実 績		206	341	392	
	進捗状況説明	アンケート内容の見直し等に時間を要し、年度内に実施できなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	文化面の大会への参加が減少した	・本事業等により、島内の児童生徒が平等に大会等に参加できるようにしたい ・事務手続き、記入方法や添付書類等分かりやすい案内を引き続き心がける
今後の取り組み方針		
・学校と連携しながら、補助金交付要綱の見直しを行い、円滑に対応できるよう努める ・各申請書にヒアリングを行い、細部にわたり必要とされる事業費積算の見直しを行う		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,028</td><td>8,028</td><td>6,422</td><td>1,606</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 与那国町 8,028千円 補助金 8,028千円 町内小中学校 (5校) 8,028千円 各種大会派遣に係る補助金 (各種大会派遣旅費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,028	8,028	6,422	1,606	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,028	8,028	6,422	1,606	0										
資金の流 れ・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各学校から申請や交付金要綱等に基づき補助を行っており妥当である											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・体調不良や悪天候の影響により大会へ参加できないこともあったが、適正な予算規模であると考え											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・航空運賃や宿泊費以外の経費については、受益者が負担していることから妥当であると考え											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、用途については、実績報告書で審査しており適切である											

市町村名	与那国町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-③	地域国際交流事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施 (予定)年度	平成24～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の 推進			
事業内容	町内小学6年生を台湾花蓮縣にあるタバロン小学校へ派遣し、地元小学生との交流事業を行う。また、派遣前には町出身通訳による台湾・タバロンに関する事前学習とICT交流を実施。派遣後についても交流や現地での学習を継続することを目的にICT交流を実施する。							
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)							
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,052					5,770
		(b) 予算現額	3,272					5,537
		(c) 増減額(b-a)	-1,780	0	0	0	-233	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	3,272	0	0	0	5,537	
	B. 執行済額		2989				5,030	
	うち交付金充当額		2391				4,024	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		91.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	90.8%	
予算の状況の説明		・旅行業務委託に関する金額が、当初計画より変更となったため、233千円の減額となっている。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・ホームステイの実施	目 標	()	()	()	(17人)		
		実 績	未執行	未執行	未執行	17人		
	・テレビ会議システムによる中継交流の実施	目 標	()	()	()	(2回)		
		実 績				2回		
	・ホームステイ報告会の実施	目 標	()	()	()	(実施)		
		実 績				実施		
	・報告書の作成	目 標	()	()	()	(実施)		
		実 績				実施		
	・保護者、引率教諭への事後アンケート調査の実施	目 標	()	()	()	(実施)		
		実 績				実施		
達成状況説明	・5月の新型コロナ5類移行を受け、4年ぶりに実施することができた。 ・受け入れ側の都合で日程の変更はあったが、計画していた内容で町内小学校6年生全員を花蓮市のタバロン小学校へ派遣することができた。(今年度は比川小学校の在籍がなく、与那国小学校と久部良小学校が参加) ・報告について、久部良小学校は新聞形式の資料を作成し掲示した。各校、全校集会や学芸会でタバロンでの交流の様子をプレゼンテーションにまとめ発表したり、交流会で学んだダンスを披露したりすることができた。 ・引率と保護者を対象にした振り返りを実施した。 ・1月に行われた学力向上推進実践報告会にて、PTAや地域の方に向けて映像や動画等を用いた報告を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	帰国後、児童の国際的な視野がより広まったと感じた保護者の割合(80%以上)	目 標	()	(80%以上)	()	()	()	
		実 績		91%				
	【参考指標】 大多数の保護者が、国際的な視野が広まったと考えられる値として設定	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗状況説明	・R3年度、R4年度は新型コロナウイルスのため、派遣は実施されていない。(ICT交流のみの実施) ・アンケートは「Googleフォーム」や「紙媒体」を活用して実施し17名参加中12名の回答を得ることができた。 ・「本事業での体験を通して以前に比べて外国や異文化への興味・関心が高まったと感じますか。」という問いに対し、1名が「わからない」と回答し、肯定的な回答が91%となった。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・ICTを活用した事前、事後交流をすることで、継続した交流を行うことができた。 ・子どもたちの交流だけでなく、担当職員とコーディネーターの打ち合わせでもICTの活用を行うことができた。 ・タバロン小学校での交流の進行等、役割分担を事前に行う必要がある。(日本語・台湾華語ができるコーディネーターへの負担が大きい) ・現地でのガイドやバスの契約や配置など事前の調整が必要である。 ・年度途中の教育長就任、担当者の途中異動等があり引率者の変更をせざるをえなかった。 ・石垣⇄台湾の航空便がなく(新型コロナの影響)那覇経由になったため、日程が長く児童、引率の負担が大きかった。	・台湾華語等事前学習の持ち方の改善。(動画や音声の共有) ・ICTを活用した事件事後交流を引き続き実施するが、交流内容や方法について検討する必要がある。(コミュニケーションの方法等) ・教育委員会ICT担当と打ち合わせを行い、スムーズにICT交流できるようにする。(ブレイクアウトルームの作成・交流時の音声等) ・タバロン小学校における児童の交流の内容について、ICTを活用して事前にタバロン小の担当と与那国の小学校の担当が検討できるようにする。
今後の取り組み方針		
・ICTの活用を積極的に進め、取り組み内容の改善や担当者の負担軽減を進める。 ・次年度の計画を進める際に、今年度の担当も参加しスムーズな引継ぎができるようにする。 ・ホームステイとICTを活用した事前・事後交流を行い一定期間継続した交流ができるよう計画を進める。 ・次年度は児童数26名参加人数が多い。(今年度比+9名)今年度同様ホームステイを計画するが、受け入れの可・否等、事前の調整を進める。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,390</td><td>5,030</td><td>4,024</td><td>1,006</td><td>360</td></tr> </table> 与那国町 5,030千円 委託料 5,030千円 株式会社中央ツーリスト 4,400千円 食費(交付対象外経費) 360千円 to link Office 630千円 旅行業務委託 通訳・翻訳・コーディネート・事前学					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,390	5,030	4,024	1,006	360
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,390	5,030	4,024	1,006	360										
資金使途の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
点検	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札に基づき選定を行ったため、妥当と考えられる。											
評価	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○研修や渡航費に係る経費以外は受益者負担となっており、負担関係は妥当であったと考えられる。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○精算の段階で必要資料を点検したが、費目・使途は事業目的に即しており、必要であったと認められる。											

市町村名	与那国町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 - ④		ジュニア海外語学研修派遣事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	町内の選抜中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への短期ホームステイ派遣を行い、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	2,800	2,880	2,913	2,912	2,933
		(b)予算現額	2,731	0	0	0	2,933
		(c)増減額(b-a)	-69	-2,880	-2,913	-2,912	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	2,731	0	0	0	2,933
	執行率(%) (B/A)	B.執行済額	2716	0			2,933
		うち交付金充当額	2172	0			2,933
		次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		99.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
	予算の状況の説明		令和2年度から令和4年度は、新型コロナの影響のため事業が中止。令和5年度は、100%実施できた。				
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・研修派遣の実施 4名	目標	(4人)	(4人)	(4人)	(4人)	
		実績	0人	0人	0人	アメリカ 4人	
	・報告会の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	未実施	未実施	未実施	実施	
	・報告書の作成	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	未実施	未実施	未実施	実施	
	・生徒、保護者、教諭(英語担当、学級担任)への事後アンケート調査の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	未実施	未実施	未実施	実施	
達成状況説明	・アメリカカリフォルニア州に4名の生徒を派遣した。 ・久部良中学生は吹奏楽部定期演奏会にてそれぞれPTA・地域住民・同校生徒に向け、報告会を行った。 ・自由形式の報告書(1人15ページ程度)と日記形式の報告書をそれぞれ作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた保護者の割合(80%以上)	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績				100%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・派遣生徒4人、保護者4人、教諭(校長、英語担当、学級担任を対象にアンケート調査を実施した。全員より回収。保護者4名の回答を集計した結果、「ホームステイ派遣が、外国に対して興味を深めるきっかけになった」との問いに4名が肯定的に回答し、目標値に達した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	【アンケート】 帰国後報告会(役場内・学校)や進路選択の場面で、生徒の成長や思考の変化を保護者が感じやす時期にアンケート調査を行ったことが、数値にも反映されたと考えられる。また、検定受検やテストなど数字で派遣の成果を感じられたと推測できる。	自身の目標や体験をアウトプットできる機会(出発・帰国報告会、目標シート・報告書の作成、新聞社への投稿)を設けることで、語学学習の意欲向上と異文化理解の促進を図る。
今後の取り組み方針		
・目標達成シート(派遣前・中・後)を引き続き実施し、具体的な達成手段や達成値など生徒・保護者間で評価を共有してもらえるような呼びかけを行う。 ・例年作成している報告書に加え、作文形式の体験報告を新聞社へ投稿する。保護者を含め広く地域住民に生徒の体験や考えについて触れてもらう機会とし、後輩への意欲喚起につながることも期待される。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,933</td><td>2,933</td><td>2,346</td><td>587</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,933	2,933	2,346	587	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,933	2,933	2,346	587	0										
与那国町 2,933千円 → 委託料 2,933千円 → 株式会社南日本カルチャーセンター 2933千円 (海外語学研修派遣委託)														
資金の流 れ、費 目・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札に基づき選定を行った。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額がなく、適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○研修や渡航費に係る経費以外は受益者負担となっており、負担関係は妥当であったと考えられる。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○精算の段階で必要資料を点検したが、費目・使途は事業目的に即しており、必要であったと認められる。											

市町村名	与那国町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	安心・安全のまちづくり支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア	
担当部署名	長寿福祉課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	子ども・子育て支援の充実	
事業内容	子育ての環境を支援するため、就学前児童及び小学校3年生以下を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育てを支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の 状況	(a)当初予算額	5,370	7,317	7,254	7,504	7,504
		(b)予算現額	4,510	4,942	7,254	7,504	7,504
		(c)増減額(b-a)	-860	-2,375	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	4,510	4,942	7,254	7,504	7,504
	B.執行済額		4395	4942	4369	6,201	7,341
	うち交付金充当額		3192	3516	3954	4,961	5,872
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.5%	100.0%	60.2%	82.6%	97.8%
予算の状況の説明		当初予算額に対し100%にちかい額で指導員3名への報酬及び手当等の執行が行われた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	指導員の配置	目 標	(3名)	(3名)	(3名)	(3名)	
		実 績	3名	3名	3名	3名	
	指導員の研修参加支援	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	未実施	未実施	未実施	未実施	
達成状況説明	支援員の配置について、目標通り3名の確保が実現できた。研修参加等の支援については、研修の案内等は実施しているが、受講するに至っていない。指導員のスキルの向上を実現するため、研修を実施する必要がある。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	安心・安全に子どもを預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じたか(90%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(85%)	(85%)	(90%)	()
		実 績		91%	94%	91%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	アンケートの結果、91%の保護者が負担感が軽減されたと回答しており、目標の90%を1ポイント上回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・手洗い場の複数箇所の確保等が必要等、使い勝手の悪い部分がある。 ・指導員の確保において、今年度においても保育士の資格を保有している人材確保が課題であった。	・既存施設の利便性の向上を図るための対策が必要である。 ・保育士免許保有者を確保するための、人材育成事業を行う。
今後の取り組み方針		
・令和5年度から、町内で保育士資格取得に対して通信教育等で資格取得人材育成事業の取り組みがスタートしたが年度途中で頓挫する残念な結果となった。次年度についても再度、継続して取り組んでいく。 ・指導員のスキルアップのため、島外への研修派遣の実施。 ・予算の範囲内で改修、修繕を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>7,341</td><td>7,341</td><td>5,872</td><td>1,469</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,341	7,341	5,872	1,469	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,341	7,341	5,872	1,469	0										
与那国町 7,341千円 報酬 6,093千円 職員手当等 1,248千円 子育て支援指導員 (3人) 7,341千円 学童保育にかかる子育て支援指導員 (会計任用職員) の人件費														
資金の流 れ・点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学童保育にかかる子育て支援指導員に対しての支出であり、妥当と考えられる。 ○支援指導員の配置人数は適正と判断している。 ○費目・使途については事業目的達成のためにも必要な経費に支出されていることから予算規模は妥当と考えられる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	少子高齢化対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア	
担当部署名	長寿福祉課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	子ども・子育て支援の充実	
						Ⅲ-4-(1)	
事業内容	本町唯一の医療機関である与那国診療所には、各専門医がないため、出産又は専門医療を受けるためには、島外の石垣島へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用について支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	1,046	1,046	1,300	2,050	1,800
		(b)予算現額	1,021	1,321	1,300	2,050	1,800
		(c)増減額(b-a)	-25	275	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	1,021	1,321	1,300	2,050	1,800
		B.執行済額	1,021	1,220	764	1,611	673
		うち交付金充当額	1,117	976	976	1,289	538
		次年度繰越額	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	100.0%	92.4%	58.8%	78.6%	37.4%
	予算の状況の説明	年度ごとの支援対象となる妊産婦数は、転入転出者の状況に応じて変化が大きい。与那国町へ赴任してきた子育て世代においても、当該事業の周知徹底を行い、とりこぼすことなく有効に活用していることから、離島においても安心して出産の計画が立てられることが周知され、子育て世代の移住者の定住促進にも効果を示すものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	妊産婦定期健診の実施 (H30-R2活動目標:妊産婦定期健診・出産時の渡航費、宿泊費の助成事業)	目 標	(渡航費補助)	()	()	()	
		実 績	渡航費補助				
	妊産婦一人当たりの受診回数:12回/人	目 標	()	(12回)	(12回)	(12回)	
		実 績		8回	4.5回	3.2回	
達成状況説明	今年度については11名の対象があり、子育て世代の負担軽減を図ることができた。 ・活動目標は島外の健診受診者を対象としており、島内での出張健診を受診した方がおり活動目標実績は減少した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	島内での妊産婦定期健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合100%	目 標	()	(100%)	(100%)	(100%)	()
		実 績		100%	100%	100%	
	【参考指標】 妊産婦定期健診、渡航費の助成対象者	目 標	()	()	()	()	()
		実 績		22名	23名	11名	
	進捗状況説明	昨年度に比較し支援対象となる妊産婦数は大幅に減少、転入転出者の状況に応じて変化が大きい。与那国町へ赴任してきた子育て世代においても、当該事業の周知徹底を行い、とりこぼすことなく有効に活用していることから、離島においても安心して出産の計画が立てられることが周知され、子育て世代の移住者の定住促進にも効果を示すものである。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ここ数年物価高騰により家計負担増の家庭も増えていると考えられる。本町では母子手帳交付数・出生数の減少が続いている。妊婦の4割は県外での里帰り出産であり、産前産後の期間において半年近く里帰りしている妊産婦も多くなっている。また、上にきょうだいがいる場合や産後頼れる人がいない等によりすぐに島へ戻るなど、一人一人渡航費の申請数に差がある。	子育て世代包括支援センターでの面談等を通して個々のケースを丁寧に見ていく中で、制度の利用状況も一緒に確認していく。
今後の取り組み方針		
引き続き子育て世代包括支援センターを中心とした支援の中で、個々の支援と経済的支援、安心して過ごせる地域づくりを統合的に取り組んでいく。特に妊娠期は安心安全に過ごせるよう経済的支援の充実を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
1,061	673	538	135	388

与那国町
673千円

補助金
673千円

妊婦・出産旅費助成金
673千円

妊婦・出産旅費に係る助成金
(うち交付対象外経費 388千円)

資金の流 使途の流 点検 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・妊産婦通院費助成金交付申請において、対象者を確認していることから適正と判断している。 ・定期健診及び出産のための、移動経費、宿泊費について一般的な料金体系を参考に判断している。 ・費目・使途については事業目的達成のためにも必要な経費に限定して支出している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那国町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	公共路線支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-エ		
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築 Ⅲ-9-(2)		
事業内容	生活路線バスの運行費用の支援							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		(a)当初予算額	12,610	12,843	12,850	12,850	12,850	
		(b)予算現額	12,587	12,843	12,850	9,291	12,843	
		(c)増減額(b-a)	-23	0	0	-3,559	-7	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	12,587	12,843	12,850	9,291	12,843	
	活動目標(指標)及び達成状況	B.執行済額		12,587	12,843	12,844	9,291	12,740
		うち交付金充当額		10,070	10,274	10,274	7,432	10,192
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
予算の状況の説明		計画通りに事業を実施し、適正に予算を執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
	公共交通路線バス運行費用への支援	目 標	(運行支援)	(運行支援)	(運行支援)	(運行支援)		
		実 績	実施	実施	実施	実施		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成状況説明	与那国町で唯一の公共交通手段である生活路線バスの安定した運行を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()	
		実 績		未実施	89.50%	85.70%		
	【参考指標】	目 標						
		実 績						
	進捗状況説明	学生や観光客の利用者が多かった。高齢者については、ほとんどが福祉サービスを利用されており、バスの利用者は限られている様。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	バス対策会議の開催により、飛行機発着に合わせた時刻表の見直し・診療所への停車等課題があげられた。	皆にやさしいバス停を希望する声がいくつかあった。道路の拡張工事が実施されれば、新たなルートを検討できそうである。
今後の取り組み方針		
現状の運行を維持しつつ、雨天や、次のバスまで待機するために、ベンチや屋根の設置を検討。また、道路の拡張工事に伴い、バス時刻表についても変更を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>12,740</td><td>12,740</td><td>10,192</td><td>2,548</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,740	12,740	10,192	2,548	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,740	12,740	10,192	2,548	0										
与那国町 12,740千円 委託料 12,740千円 最西端観光株式会社 12,740千円 与那国町生活路線バスの運行に係る委託業務														
資金の流 使途の流 れ点検 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○町ではこれまで、観光バス業務及びタクシー等を行っている事業者は、1事業者であったが、新規参入希望もなく、選定方法は妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合った適正な規模だと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精算等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	与那国町離島住民等交通コスト負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
担当部署名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	令和5年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	人流・物流のコスト低減と情報 通信基盤の強化	
事業内容	沖縄県内の離島を結ぶ交通機関は、航空機及び船舶に限られ、割高な運賃が移動の障害となっている。 このため、航路及び航空路の運賃に対し負担額を交付することにより運賃の低減化を図る。 航路についてはJR地方線並の水準を参考に、航空路については、新幹線運賃水準を参考に事業者が設定している運賃の約4割を負担額として設定する。事業者において負担額を参考に運賃を設定する。 対象区間は、航路は定期離島航路のうち24航路、航空路は14路線を予定。 ただし、県が想定する運賃水準を超えて低減化されている航路又は航空路がある場合は制度の適用は保留する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予 算 の 状 況	(a) 当初予算額	4,510				
		(b) 予算現額	2,879				
		(c) 増減額 (b-a)	-1,631	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				0
		A. 計 (b+d)	2,879	0	0	0	0
	B. 執行済額		2039				
	うち交付金充当額		1631				
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		70.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初、交付対象としていた与那国-石垣間の路線を対象外としたため、負担金1,631千円を減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	離島航空路の渡航運賃低減化を図り、離島航空路を維持する。	目 標	(維持)	()	()	()	
		実 績	維持				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	協定期間内(令和5年4月18日から10月17日)において、割引運賃の搭乗実績数に応じた負担金の支払いを完了した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)
	離島航空路の渡航運賃低減化を図り、離島航空路を維持する。	目 標	()	(維持)	()		()
		実 績		維持			
	【参考指標】単年度事業のため設定なし	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	負担金の精算払の終了に伴って、本事業は完了となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	協定期間内(令和5年4月18日から10月17日)において、割引運賃運賃の低減化を図り、離島航空路の維持に資することが出来た。	今年度においては、当事業によって割引運賃運賃の低減化および離島航空路の維持を図ることが出来たが、その効果は一時的な措置に過ぎない。
今後の取り組み方針		
中長期的な視点で離島航空路の維持を図るにあたっては、国・県・関係自治体等が一丸となって根本的な課題の解消に向けた協議や各制度、補助のあり方を検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,079</td><td>2,039</td><td>1,631</td><td>408</td><td>2,039</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,079	2,039	1,631	408	2,039
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,079	2,039	1,631	408	2,039										
与那国町 2,039千円 → 負担金 2,039千円 → 琉球エアークommuter株式会社 2,039千円 渡航運賃低減 離島航空路の維持														
資金の流 れ・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○当該航空路の運航会社に対する負担金であるため、支出先の選定は妥当であった。 ○不用額もなく適切な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												